

時事新報

第二千二百六十二號
明治廿二年四月十七日 水曜日
舊曆己丑三月十八日 (癸亥)
入館時間 午前七時 午後二時
月入 洋銀七圓 日入 洋銀四分
送金 洋銀六圓 日入 洋銀四分
送金 洋銀六圓 日入 洋銀四分
(西曆一千八百八十九年)

時事新報定價

時事新報一年三百六十五日一日も休刊せず其代價運送料廣告料ハ左ノ如シ
○一箇月 洋銀五圓
○三箇月 洋銀十五圓
○六箇月 洋銀三十圓
○一年 洋銀六十圓
○送金 洋銀六圓 日入 洋銀四分
○送金 洋銀六圓 日入 洋銀四分

時事新報廣告料前金

一行至十行	一行二十行	一行三十行	一行四十行	一行五十行
一行六十行	一行七十行	一行八十行	一行九十行	一行一百行
一行一百一十行	一行一百二十行	一行一百三十行	一行一百四十行	一行一百五十行
一行一百六十行	一行一百七十行	一行一百八十行	一行一百九十行	一行二百行
一行二百一十行	一行二百二十行	一行二百三十行	一行二百四十行	一行二百五十行
一行二百六十行	一行二百七十行	一行二百八十行	一行二百九十行	一行三百行
一行三百一十行	一行三百二十行	一行三百三十行	一行三百四十行	一行三百五十行
一行三百六十行	一行三百七十行	一行三百八十行	一行三百九十行	一行四百行
一行四百一十行	一行四百二十行	一行四百三十行	一行四百四十行	一行四百五十行
一行四百六十行	一行四百七十行	一行四百八十行	一行四百九十行	一行五百行
一行五百一十行	一行五百二十行	一行五百三十行	一行五百四十行	一行五百五十行
一行五百六十行	一行五百七十行	一行五百八十行	一行五百九十行	一行六百行
一行六百一十行	一行六百二十行	一行六百三十行	一行六百四十行	一行六百五十行
一行六百六十行	一行六百七十行	一行六百八十行	一行六百九十行	一行七百行
一行七百一十行	一行七百二十行	一行七百三十行	一行七百四十行	一行七百五十行
一行七百六十行	一行七百七十行	一行七百八十行	一行七百九十行	一行八百行
一行八百一十行	一行八百二十行	一行八百三十行	一行八百四十行	一行八百五十行
一行八百六十行	一行八百七十行	一行八百八十行	一行八百九十行	一行九百行
一行九百一十行	一行九百二十行	一行九百三十行	一行九百四十行	一行九百五十行
一行九百六十行	一行九百七十行	一行九百八十行	一行九百九十行	一行一千行

政治壇上は利を説く可らず

熟らく西洋諸國政治社會の有様を見るに黨派政治よく實際に行はれて其効を見るの國々少ならず。然るも英國の如きは其最たるものにして内閣の更迭を黨派の争に附して甲乙乙起、政權授受の頻繁なるも拘はらず。政權は常に圓滑にして會て議決の格なく獨り黨派政治の美を世界に専らにして世の政を談するもの皆ふれを稱せざるものありと云ふ。抑も政權の授受を公然たる黨派の争に訴へて毫も難色なく授くる者も受る者も之を尋常視して其間不平怨憤の妙法なし。是は假令今年來養成したる習慣に依るものとは云へ一見先づ驚かざるを得ず。近來我國に於ても類りに英政の美を唱へ黨派政治の利を説くもの少ならず。此輩の胸中には日本政治の將來に彼の實例を新くみよらん。なれども今日の有様より推して今後の成行を考ふるに、事實果して彼の如くある可きや否や不安心の愚妄にあらざらずと申す次第は抑も英政が今日の美を致したる所以のものに種々の原因もある可し。雖も我輩の所見を以てすれば之を彼の國人固有の美德即ち政治壇上は利を説かざるの氣風習慣に歸せざるを得ず。抑も利に趨き人種なるも獨り政治上に利を説かざるは不思議に似たれども決して不思議な非ず。即ち其利を説かざるは利に趨かざるなりと云ふ可きのみ一國の政治社會に政黨が專横を爲さんとするときは國の政治は忽ち其秩序を失ひて偏頗不公平の政略となり。商工社會も非常の損傷を及ぼすのみならず黨争激烈の極度に達す可きは勢の死にざる所にして國運は幼稚に商工の業未だ發達せざるに於ては往々斯る弊害を見るもなれども其進歩發達英國の如きものに至れば則ち政治上の私利の爲り一國の大利を殉せしむるべきを許す可らず。是を得ずして政治社會は唯、權を振ふる場所となり。利を欲するものは商工社會に往き權を好む者は政治社會に入り兩者相分れて相牽さるのみならず實際權を振はんとするには利を損せざるを得ざる場合あるを以て政治の事と黨争の事とは相兩立すべからざることを爲り其政治社會に入るに既に利を得たるものが更に權を振はんとして物盡すにも餘りなく政治上に敵するも外ならず。

米國通信

桑港三月廿日特報
米國の都會及び其人民 英國の學者レオノール・コシエー氏が會て歐洲各都會に住居する人民の非常なる進歩を以て増加する有様を觀察し遂に此増加の事實を以て第十九世紀に於て最も著るべき新現象なりとて大に之を論じたるのみならず今米國の都會が就て其全體の住民を統計すれば亦以て氏の言の實に由る所あるを發見し得べきのみならず年々米國各都會の人口の増加するに足るものあり之を例せば夫の千八百八十年頃

て合衆國中に凡そ六千以上の人口を含有する都會は只僅に六所に過ぎりしに降つて千八百八十年に至り六千有餘の住民を有する都會の數を調査すれば殆んど二百八十六所の多きに及び左れば一年毎に三都會の増加を見し割合なり而して有名なる統計學者ソームス氏の説く所は依れば尙一層明細に其増加の實況を知るに足らん。即ち八千人以上の住民を有する都會を總合して其全員の地方の住民に比較せば千七百八十年に於て僅に其十分の一に過ぎざりしが千八百八十年に於て及んで漸く其比例を變じて廿五に對する一となり。千八百三十年は十六分の一となり千八百四十年は十二分の一、千八百五十年には八分の一、千八百六十年は六分の一となり。遂に五分の一の割合を千八百七十年に現はし。四分の一の比例を千八百八十年に於て見たるが如く以て米國都會の住民の非常な増加せしを見るべし。斯くの如くして其進歩を妨ぐるの事情はへ起らず。斯く年々出でずして全國人民總數の正半を國內の都會中に吸取するならん。云へり是を以て現今の米國都會は日々に其人口を増殖するにも拘はらず地方住民の増加の速力は甚だ鈍く或は場所によりては漸次其人口の減少する傾向あり有名なる英國の政治家チャムパーン氏は米國文化の中心として知らるるニューイングランド諸州を以て其住民が地方生活の質素簡潔なるを嫌ふて大都會に移住するを實見し此結果は其地方の殖産をして衰微せしむるのみならず都會の人口を偏増せしむるものなりと論せり。左れば當カリフォルニア州の如きに於ても都會人口の増加は實に著明なれども地方の人口は依然たる姿にて更に増加の模様なき土地多し。即ち桑港の如きは千八百八十六年に三十萬の人口を有し僅に一、二年を經たる今日既に十萬餘の人口を増加したりと云ふ。今其重なる原因を尋ねると世人の知る如く元來米國は世界の殖民國屋となり土地の事情又は風習にも慣れざる外國人の移住するも亦これ等は移住者は重く都會のみ集合し都會をあらざれば容易に自己の希望する職業労働等に従事する能はず。都會にあれば彼等一般の衣食住に就ても亦何となく便宜を得る所あり。先年外國人等が金銀鑽の發見を耳にして一攫千金の欲望を遂げんとしたるが如き時代は既に過ぎ去りて今や殆んど努力者の一社會に限りたるが如き移住民の輸入し來る場合となり。左れば彼等も務めて地方を避けて先づ都會に居るの覺悟をなさざる可らず。然らざれば到底其衣食住を得る能はざるべきのみ是れ則ち近年に於て斯くも都會人口の増加を致したる重なる原因ありと云へり。故に強て都會住民を減少して其割合に應じ地方の住民を増加せんと欲すれば從つて都會の製造工業所等を廢物とすべし。又之を地方に移轉するかの二問題を決するも誠と曰下の一大難務ありと論ずるものあるに至れり。然れ共此問題は容易に解釋し難き社會上の一大問題なれば以上の事實のみを記して世人の參考に供す。

大坂府病院

○大坂府病院 造幣局構内に病院を建築する由は此種の紙上に掲載せしが右は急々明年早々着手する筈にて敷地は同構内入堀川より北手の地所六十間四方の地所と定まり此内へ在來の泉布館をも取込み局長の官宅官吏職工の官宅等は勿論尙は天橋通り二三丁目に跨る民家凡五千軒計も買上取拂ふ由なるが構造は日本風なりと云ふ。

海軍大醫院

○海軍大醫院 學校長吉田田中院長心得り。患者は深く多し。多く又醫員も多し。已に此程總務部は漸く其意を定めて徒は今度更なるに決し。海軍病院長へ請願して來る。坂野學校病院の理をも引受はる。以病院の整理をなからず府内もの獨り入院して辭職し。しと云ふ。

湖東鐵道工

○湖東鐵道工 海道鐵道線路の工事と云ふ。分奉月一日。八外。州。兵衛外二年。

時事新報

讀メ一ル新聞

我報は去る三日の時事新報に於て衆議院議員の年齢三十歳以上とあるを廿五歳と改むる方は寧ろ得策なるべしとの旨を閣議せしに横濱メ一ル新聞記者は昨日の紙上に之を討論して近來政治社會に壯士なるものあれば之をして國會議場に出現せざらしめんが爲め法律の上より充分の用心を加へざる可らず其年齢を三十歳以上と制限するも他も差したる不都合あるべしとも思はれざれば今日の所は先づ此儘として後日に至り不適當なるとあらば其節に改正を施すも未だ敢て速きに非ず撰擧の區域を擴張するは易く之を縮小するは難し云々とて壯士の爲め深く心を勞するもの如し此點に於ては我輩も亦同感にして少壯なる活潑論者が國會の議論を左右するは誠に好ましからざる次第にして心よ之を思はざるには非ざれども前日の論文も記載したる通り事の實際に於ては老人の撰擧せらるる者多かるべくして既に府縣會の議員も三十歳以下の人は僅く總數の五分位に過ぎざるとなれば其邊も深く遠慮せんよりは寧ろ區域を擴張して政略の大膽を示す如かずと申したるにて會に壯士を忘れざるのみか一は以て其黨々の弊を防がんと欲せしかり如何とされれば前記の如く所詮少壯論者は國會議場に出づると能はざるも相違なきれども今年齡三十歳以上と制限するときは恰も此法律の爲めに議員たるを妨げられたる様の感覺をなして若し之無ければ乃公も亦議員たるべきに法律より不都合なれど不平の口實を得ると共に無益の議論を放たしむるやも知る可らずメ一ル記者の配慮は尤もの備として我輩も精神も於ては異なる所なれば唯其前途の見込を異にしたる迄なれば一たび事の實際に照すとときは記者も亦同感に出づるとあらんか況んや日本人民が心身の發達の速なるは過日の紙上にも記しざる如く其老衰の速なるを見るも亦知るべきに於てをや既に壯士の出づるを要せず將た何を苦んで青年福有の人材を失ひ併せて壯士の口實を造らんや記して以て記者の反省を乞ふ

雑報

○正誤 要價金と題し昨日の本紙上に記載せる福嶋縣下白河町の焼失家總代人より日本鐵道會社へ損害要價の請求をなしたり云々の一項は事實相違の虞ある處につき取消す
○頌榮女學校 芝區横町ある同女學校は一昨十五日午後二時より定期試験の卒業證書授與式を執行したり場内の正面に演壇を設け盆栽生花等を陳列して同校に因るものを招待し女生徒五十名内外は演壇に向ひて列を正し座定りて校長岡見清致氏は式を開く旨を告げ生徒は交々壇より昇りて祝辭を朗讀し英字の作文英文の暗誦其他英和の贊美歌唱等あり夫より本科二三年生豫科一二年生の卒業證書授與し又渡邊大學總長は女子教育に関する演説をなしたり今其要旨を記さん人に其教育は其性に依りて授けざるべからず左れば男女は必ず其教育の分界を明かにし女子は女子の風采を守り其本分を盡さざるを得ず所謂男女同權ある説を誤解して女子も男子同様なりと思ふが如きは甚しき誤解なり男女同權とは男は男だけの權限を守り女は又女子だけの權限を立て互に其權限を犯さざるを同權ともいふからんとて歐洲及東洋諸國に於ける男女の權限杯を引渡し女子たるの權限に付分界を明かにし美德を保つべき事

廣告

今晩牛込支局類焼付差向キ牛込通寺町廿一番地松源寺内チ假局トシ事務取扱フ
但郵便物ハ異狀ナシ
明治廿二年
四月十六日
東京郵便局

附言 從來の家屋手狭い付左の處に於て諸新聞雜誌 廣益社 中澤 丙一 廣告取扱

東 商業 講義錄 京 三 每月 三回
經濟學大意 文學士 土子 金四郎
商業地理 文學士 堀田 健次郎
簿記學 文學士 堀田 正善
全世界史 文學士 坪内 雄藏
化學大意 文學士 植田 豊藏
商人言行錄 來田 大太郎
農工商新報 數件

第五號四月十五日發兌
日本橋區朝陽町 立私 東京商業學校
本郷六丁目 哲學書院
京橋區日吉町 裁判粹誌社
校外生 東脩五十錢月謝三十錢
一部賣 十五錢 郵税一錢

卷下發兌全部完成
本卷ハ有機化合物ノ全部ヲ包括シ糖質、亞爾縮保爾族、脂肪酸、脂肪類、含水炭素、次ニ芳香體、揮發油類、アルカロイド、糖等ヲ細論スル最モ重要ノ部分ナリ、卷上(原素、無機中性化合物、酸類、鹽類)正價金八十五錢、卷中(各金屬、無機酸鹽及ヒ有機酸鹽)正價九十錢共ニ巴ニ發行セリ
東京發兌書林 馬喰町二丁目利本郷春木町馬喰町支店
日本橋區通三丸善湯鍋切通坂南江堂

近火御禮 活神堂
昨曉御禮之御身、御下混雜之際、名刺遺レ可有之、且時時主一名古屋在物中、付一階、新聞紙上ニ御禮申上候也
東村守節親殿
明治廿二年 四月十六日 中澤 永秀

賣家 日本橋區村松町四十七番地木造三十坪二階
日本鐵道會社
本月十七日迄 新宿境間臨時時車
左ノ通
兩天其他列車ノ都合ニ寄リ運轉休止スルモノモ有之候
新宿發午後十二時五十分
境發午後一時四十分
中野發午後一時六分
境發午後二時三十分
新宿發午後二時三十分
中野發午後二時三十分
明治廿二年 四月十六日 日本鐵道會社 甲武鐵道會社

甲武鐵道會社廣告
增補第四版廣告
發行全一冊
洋綴本
圖數十個
數八百頁
來五月上
發行全一冊
洋綴本
圖數十個
數八百頁

日藥局考
右ハ昨年八月第三版發行來益好評ヲ博シ今ヤ既刊ノ右並セルヲ以テ増補改正第四版
近日ノ内前版ニ増補改正第四版
行スベレ依テ價目改訂シ價額前版ニ同
發兌元 神田區治部町十七番地 朝香屋
馬喰町馬喰利。春木町支店。通三丁目丸善。切通坂南江堂

明治會叢誌第五號
四月十五日發
論 守通合一の理を論じ併せて民友記者が説を排撃
兩森信成○日本人の道德と耶蘇宗教地引論三郎
國體論(承前)矢嶋錦藏
加藤博士が勿論其學は無効にして自滅す○甚
民友記の外國崇拜○ニコライ氏が購着手段は巧
似て拙あり
●文苑○和歌○數首○詩○二者○文○一篇○會報
數件○廣告○數件
神田區南神保町十七番地
神田區神保町
神田區馬喰町
神田區馬喰町
京橋區三十間堀一丁目
眞明々業

生徒募集
本校各年級欠員アリ志願者ハ春期休業後來ル十五日
リ試験ノ上入學ヲ許ス 規則ヲ要スル者ハ郵券二
選送アレ 橫濱山手百二十番館
四月三日 立私 橫濱英和學校

本社株主總會ニ於テ資本金二萬圓ヲ増シ
併テ左ノ役員ヲ撰定就任ス
社長 澤本 卯之吉
取締役 佐藤 禮三
同 山田 重兵衛
同 平松 甚四郎
同 藤江 幸吉
同 澤本 庄兵衛
同 柳元 彌三郎
同 田中 彌三郎
同 田中 彌三郎
支配人 稻毛 良太郎
明治廿二年 有長 房總鐵道馬車會社

本月廿五日特別認可生
入學試驗 四月廿四日可
申出 四月 小川町立 東京法學校
白米 皇國一等 大安賣
益々大強強非常の廉價にて販賣且つ御禮に應じ精
良品の保險も仕候間山御用御禮付度奉賣上候也
東京日本橋區新藥物町四番地
高梨万造